



## 【先週 6月9日～6月15日の外食の出来事】

### ■鳥貴族、純利益 66%減 8～4月単独、値上げ響く

鳥貴族の2018年8月～19年4月期の単独決算は、純利益が前年同期比66%減の3億1000万円だった。17年に実施した値上げが影響し、既存店売上高は5月まで17カ月連続で前年割れ。売上高は7%増の270億円。

### ■くら寿司、純利益 36%減 18年11月～19年4月 バイト不祥事で客離れ

くら寿司の2018年11月～19年4月期の連結決算は、純利益が前年同期比36%減の17億円だった。2月に発覚したバイト店員による不祥事で客離れが起きた。ハンバーガーなど新商品を投入したが既存店客数は4%減った。

### ■2018年度の飲食店の倒産、過去最多。人手不足、後継者難が引き金。

帝国データバンクが、2018年度の飲食店の倒産動向調査を公表。倒産、休業・解散合わせて1180件、前年度比7.1%増。東日本大震災が発生後の2011年度、リーマン・ショックの2008年度を上回り、で最多を更新した。

### ■APカンパニー、新業態「立ち寿司横丁」が好調 坪月商50万円超え

エー・ピーカンパニーが、昨年からはじめた「立ち寿司横丁」が好調。立ち食いスタイルで気軽に寿司が楽しめる。寿司は140円から。1人飲み、ちょい飲みに合うとともに、グループ客向けに座り席も用意されている。

### ■イタリアントマト、5期連続赤字。ポッカクリエイト前社長のスカウトで立直し。

キーコーヒーが、連結子会社であるイタリアントマトの経営陣に株式会社ポッカクリエイト前社長の飯沼 浩氏を招聘する。役職は、上席執行役員 最高執行責任者。株式会社タスコシステムの代表取締役社長だった。

### ■モスバーガー、9ヶ国目にフィリピン進出。欧米の影響を受けた20～40代を狙う。

株式会社モスフードサービスが、フィリピンの大手小麦粉製粉会社 General Milling 社のグループ会社とパートナーシップ契約を締結し、モス35%とゼネラル・ミリング側65%の出資でMOS BURGER PHILIPPINES社とする。

### ■丸千代山岡家、第1四半期(2019年2月～4月)の業績 増収増益

丸千代山岡家の2020年1月期 第1四半期の業績は売上高32億4600万円(対前年同期比7.0%増)、営業利益6200万円(同12.6%減)、経常利益7300万円(同1.6%増)、四半期純利益3800万円(同0.9%減)であった。

### ■プロント、FCでシンガポール出店。成長鈍化で、出店の可能性あり。

プロントコーポレーションが、6月17日(月)Capital Square Singapore にシンガポール初出店となる「PRONTO SINGAPORE 店」を現地企業によるFCにてオープンさせる。プロントの海外出店は、中国・上海に次いで2ヶ国目。

### ■コメダが沖縄に石窯パン工房オープン。ベーカリー系新業態続く。

コメダが、沖縄県にテイクアウト新業態「石窯パン工房 ADEMOK 南風原町店」を10月にオープンする予定。菓子パン、調理パン、ドーナツ、デニッシュ、サンドイッチなど、全部で100種類以上のパンを焼き上げる予定。